

教育方針

今年度の重点目標

成果と課題

①生徒一人一人の学力の向上を図る。
②自らの行動に責任を持ち、他人を尊重し、社会連帯を重んずる態度を涵養する。
…この目標実現のために「教える」と「育てる」ことのバランスを保ちながら、生徒たちへの教育活動に励むこと。

①在校生全員(82名)の卒業をめざす。
②学力向上と進路希望の実現をめざす。
③閉課程記念事業の成功のための一翼を担う。

【課題】
○82名全員の卒業を実現すること。
○1000名の大同窓会を開催すること。

対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
3 学年	①82名全員の卒業をめざす	①欠席、欠課、遅刻を大幅に減らせたか	C	①例年以上に欠席・欠課・遅刻が多く、有効な歯止めがなかなかかけられない状況。
	②全員の希望進路の実現めざす	②計画的な進路学習、面接等きめ細かい個人指導ができたか	B	②面接練習指導等（9月第2週：面接週間）の回数を多くし、本番を迎えるところだが、予断を許さない。
	③PTA、同窓会員、地域の方々との連携を深め、「筑摩全日制でよかった」という思いで生徒を卒業させる	③PTA、同窓会員などの学校行事参加者が増えたか	A	③文化祭における「同窓生の部屋」、全日制の歴史に関するクラス展示発表等で来客（同窓生）が増えた。
生徒指導	①退学者を出さないための係としての取り組み	①担任とともに生徒に関わることができたか	B	①現在退学者はゼロ。しかし心配な生徒は数名いるので、今後も係としても指導を続ける。
	②事後指導の充実	②きめ細かい指導をし、反省補充課題を完了させることができたか		②反省指導は、1回のみ。事後指導の充実は、今後の課題。
	③午前・午後部1年生との関係を構築する	③授業や行事等で、トラブルや迷惑をかけない指導ができたか	B	③大きなトラブルもなく順調。今後はさらに校内巡視等を強化していく。
進路指導	①大学受験指導の強化	①国公立大学進学希望生徒の進路実現が果たせたか	B	①国公立大学を第一希望とする生徒数名がセンター試験に向けて勉強している。合格を目指して指導を充実化させたい。
	②きめ細かな進路指導	②フリーター・ニートの生徒を“ゼロ”人に近づけることができたか	C	②1学期で卒業見込みのたない生徒が数名出てしまった。また、進路未定の生徒もいるので、さらに指導を強めたい。
	③進路情報・資料の提供	③進路通信の継続的な発行ができたか	C	③進路決定後の生活についての「進路通信」を「3学年通信」とも合わせながら、発行したい。
学習指導 (総合学習)	①生徒全員を卒業させるための学習指導体制の徹底	①全員を卒業させることができたか	B	①担任・教科担任・係が連携をとり、全員卒業を目指して取り組んでいる。
	②学ぶことの大切さを実感させる指導の工夫	②授業・補習などの場面で、新しい取り組みが実施できたか	B	②一般常識を定着させるための取り組みや進学補習など実施。進路決定後も新しい取り組みを実施したい。
	③計画的な総合学習	③進路計画の沿った総合学習を実施できたか	B	③進学・就職に分かれて進路講座を中心に実施中。社会に出て必要な素養も今後身につけさせたい。
生徒会	①生徒会行事全員参加	①全員参加できる行事の運営ができたか	B	①全ての行事で前向きに取り組めた。全員参加は実現できず。
	②文化祭の展示発表内容の充実	②どのくらい創意工夫できたか	A	②各団体がテーマに沿って展示発表ができた。水谷氏の講演・NBS取材という企画は、大成功であった。
	③閉課程記念事業への積極的参加	③閉課程記念行事にて、在校生による企画での参加ができたか		③これから計画していきたい。
	④部活動の充実	④限られた条件の中で活動は充実していたか	A	④生徒間の協力等により、団体種目（男女バスケ・硬式テニス）にも参加することができた。 職員応援エール付きの壮行会を実施した。
	⑤同窓生との積極的な交流	⑤文化祭や閉課程記念行事等を通じて同窓生との積極的な交流ができたか	A	⑤文化祭での「同窓生の部屋」企画（同窓生のお店取材など）は、成功であった。
環境美化	①有意義な年2回の「環境の日」とすること	①「特別な美化活動の日」とすることができたか	B	①1回目を6月実施。生徒の活動で良い面が多く見られた。2回目10月の環境の日は、より内容の充実したものにするために只今検討中。
	②美化委員が率先して行う校内清掃	②清掃の意義とマニュアルを全校生徒に伝えられたか	B	②普段から校内を美しくする姿勢は身につけにくいですが、委員は率先して「ゴミ」「缶」「ペットボトル」の片付けをした。
	③「もったいない運動」の徹底	③カーテンの繕いなど使える物を活かす意識付けができたか	B	③ゴミ袋（ビニール袋）を汚れるまで何回も使うという習慣は、広まりつつある。缶・ペットボトルは、潰して業者に処分してもらっている。
校内研修	①校内公開授業の実施	①年2回以上、公開授業を実施することができたか	B	①5月1回実施。10月に2回目を実施する予定。
	②個人発表をメインとした職員研修会	②年3回、職員研修会を実施することができたか	A	②9月現在3回の研修会を実施済み。10月以降も3回実施する予定。（計画中）
組織運営	①課題に対する連携と協力体制の確立	①学年・係・教科・課程の枠にとらわれず、連携・協力する場面を増やせたか	B	①年度当初より必要に応じて生徒指導や行事運営等で協力することができた。
	②係分担と仕事内容の効率化	②校務分掌の枠組みを見直し、合理的かつ効率的な運営ができたか	A	②年度当初より昨年度とは大幅に枠組みを見直し、運営している。
PTAとの連携	①学校行事に多くの保護者の参加してもらうこと	①例年以上に呼びかけを工夫して参加率を高められたか	B	①保護者全員への総会通知・総会でのコンサート実施など、呼びかけには工夫が見られた。10月の強歩大会には15名以上の参加を実現したい。
閉課程 記念事業	①2月22日の記念イベントを成功させること	①松本文化会館・大ホールに1000名が集うイベントができたか	B	①9月より「キーパーソン方式」で同窓生・旧職員に声をかけ始めた。年内には、何とか目標の数字に近づけたい。
	②歴史の幕を飾れるような記念誌を出版すること	②500部出版し、そのほとんどを配布することができたか	B	②年内で、99%の原稿完成を目指したい。